

# 創造都市・北九州」の推進について ～東アジア文化都市2020北九州の開催～

教育文化委員会 行政視察（東アジア文化都市の取組み）

## 1 東アジア文化都市とは

- ▶ 日中韓から、文化芸術による発展を目指す都市が、様々な文化芸術イベント等を実施。
- ▶ 東アジア域内の相互理解・連帯感の形成促進、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図ることを目指す。
- ▶ 開催都市の特徴を生かし、文化芸術・クリエイティブ産業・観光振興の推進や、継続的発展も目的に。

ロゴマーク

## 2 東アジア文化都市2020北九州



### (1) 開催趣旨

「創造都市・北九州」へ  
～東アジアの響きあう交流を未来へ～

### (2) 開幕式典

開催日：2020年3月28日（土）

会 場：北九州芸術劇場 大ホール

主な内容：

- ・開幕公演「書道パフォーマンス」
- ・式典
- ・文化交流公演（日中韓の開催都市によるステージ）



2020年開催都市

### (3) その他の事業

事業名	実施時期	内容
コア期間事業	2020年7月中旬～8月中旬 2020年10～11月	「夏」と「秋」のシーズンに集中的に文化事業に取り組む「コア期間」を設け、様々なプログラムを展開。 ▶伝統芸能 ▶ART for SDGs ▶メディア芸術 ▶文学
連携事業	2020年4～12月	各種文化芸術事業に東アジア色を取り入れながら連携して事業に取り組む。
市民企画事業 (パートナーシップ事業)	2020年4～12月	多くの市民に創り手として参画していただくための、公募による市民企画事業を実施。
広報連携事業 (フレンドシップ事業)	2020年1～12月	様々な文化芸術事業に対し、ロゴの使用やホームページの掲載等を通じた一体的な広報連携事業を展開。
交流事業	2020年1～12月	文化芸術を通じて、中国・韓国の開催都市との交流を深め、東アジアの多様な文化に触れるとともに、相互理解・連帯感を深める。
閉幕式典	2020年11～12月（未定）	東アジア文化都市2020北九州の成果を確認し、日中韓3都市による交流を未来へつなぐ閉幕式典を開催。

### 3 金沢市（石川県）の取組み



金沢21世紀美術館（写真 同美術館HPより）

2004年10月開館。2018年度入館者数258万人。入館者数は国内でもトップクラスの現代アートミュージアム。市内で学ぶ小学4年生を対象に美術館で現代アートの多様な表現とふれあう作品鑑賞プログラム「ミュージアム・クルーズ」を毎年開催。東アジア文化都市事業の会場にもなった。

▶2018年（平成29年）開催

▶ テーマ

金沢からはじまる未来文化の創造

～KOGEI・アート・芸能・音楽の

新たな可能性～

▶ 中国・韓国の開催都市

ハルビン市（中国）、釜山広域市（韓国）

#### ▶特長的な取組み

##### ・価値創造事業×（かける）プロジェクト

金沢を象徴する文化産業「工芸」と異なる分野をかけあわせ、新たな価値を生み出すことを目的としたプログラムを実施。

##### ・コア事業「金沢21世紀工芸祭」「まちなか展覧会『変容する家』」

歴史を感じる金沢の街中（町家など）を会場として、日中韓の現代アートや金沢ならではの伝統工芸など、それぞれの魅力を活かしたアートイベントを実施。

### 4 豊島区（東京都）の取組み



池袋ハロウィン コスプレフェス2019（写真 実行委員会HPより）

東アジア文化都市のプログラムの一つ。池袋東口で開催される日本最大級のコスプレイベント。例年、国内外から10万人以上が来場。

#### ▶特長的な取組み

##### ・国際アート・カルチャー構想の実現に向けて

豊島区の都市構想の基本理念である「まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市」を目指す中、東アジア文化都市に取り組む。

##### ・ディレクター事業

豊島区の特長を活かし「舞台芸術」、「マンガ・アニメ」、「祭事・芸能」の3部門にて、ディレクター事業（新規事業・青少年文化交流事業・各種シンポジウム等）を展開。